

大分工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	経済学概説Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	31C407			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	都市・環境工学科			対象学年	4		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	古沢泰治・塩路悦郎著『ベーシック経済学』有斐閣アルマ, 2012年.						
担当教員	板倉 理友						
到達目標							
(1) 三面等価の原則や経済における長期モデルの特性について理解できる. (2) 経済における短期モデルの特性や経済成長の特性について理解できる.							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安(優)			標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)	
評価項目1	経済の長期・短期モデルについて十分に理解できる.			経済の長期・短期モデルについてある程度理解できる.		経済の長期・短期モデルについて理解できない.	
評価項目2	経済成長や日本経済の状況について十分に理解できる.			経済成長や日本経済の状況についてある程度理解できる.		経済成長や日本経済の状況について理解できない.	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (A1) JABEE 1(2)(a)							
教育方法等							
概要	本講義は、経済学とはいかなる学問なのかを学びます。経済の長期・短期モデル、経済成長や日本経済の状況を学ぶことによって、現代社会において観察される経済現象とその背景にある経済社会問題を知り、自分なりの経済現象に対する体系的な見方を養うことを目的とします。						
授業の進め方・方法	GDPとは何か、GDPに関連した概念、長期モデルⅠ、財市場、総需要ショック、総供給ショック、長期モデルⅡ、マクロ経済の短期モデル、短期における総生産の決定、人々の将来予想と経済変動、企業による価格決定、経済成長、資本蓄積と経済成長、日本経済とマクロ経済学、等々について学習する。 (再試験について) 再試験は、総合評価が60点に満たない者に対して実施する。						
注意点	(履修上の注意) 教科書の予習と復習を徹底すること。 (自学上の注意) 復習する際には、ノートを参考にして理解を深めること。						
評価							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	GDPとは何か		GDPの概念を理解できる。		
		2週	GDPに関連した概念		総支出の内訳を理解できる。		
		3週	長期モデルⅠ		長期と短期の区別を理解できる。		
		4週	財市場		総供給と総需要のしくみを理解できる。		
		5週	総需要ショック・総供給ショック		生産性上昇、需要変化等を理解できる。		
		6週	長期モデルⅡ		物価水準と貨幣について理解できる。		
		7週	マクロ経済の短期モデル		名目価格の硬直性を理解できる。		
		8週	後期中間試験				
	4thQ	9週	後期中間試験の解答と解説 短期における総生産の決定		45度線分析を理解できる。		
		10週	人々の将来予想と経済変動		家計の将来予想を理解できる。		
		11週	企業による価格決定		価格決定と将来予想を理解できる。		
		12週	経済成長		生産関数を理解できる。		
		13週	資本蓄積と経済成長		経済成長の基本方程式を理解できる。		
		14週	日本経済とマクロ経済学		マクロ経済学から見た日本経済の状況を理解できる。		
		15週	後期期末試験				
		16週	後期期末試験の解答と解説				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0